

ブランド価値向上と 持続的発展を目指して



神奈川県内陸工業団地協同組合
理事長 柴崎 安弘

新年、明けましておめでとうございます。
日頃から、組合員企業様の当組合活動へのご協力、ご参加、又、当組合を支えて頂いている行政並びに関係各位のご支援に対して、厚く御礼申し上げます。
昨年、世界は米中貿易戦争、中東の地政学リスク等、様々な問題がありました。国内では、未曾有の豪雨災害を発生させた台風など、自然災害の多発、消費税率の引き上げ、新元号への移行がありました。
経済においては、日米

だんち
だより

第93号

2020年(令和2年)2月5日発行



県内陸工業団地の一角にある「第1号公園」は、体育館やフール、野球場、テニスコートなどのほか、広場には大型遊具などもあり、冬でも多くの子供たちで賑わっています。

両国共に過去最長の景気拡大が続いておりますが、景気の恩恵が少ない中小製造業にとっては、まだまだ景気拡大の実感とは薄く、人出不足の中での残業規制や働き方改革等、諸課題への対応を求められ、頭を抱える事業者様も数多いことと拝察いたします。

未来を見据え 取組を推進

さて、当組合活動ですが、2016年に50周年を迎え、次なる50年に向けて「ブランド価値の向上」と「持続的発展」のために5項目に集約して取り組むことを昨年の総会でお話しさせていただきました。
5項目とは、①防災対策、②建築協定の見直し、③新団地会館の建設、④用地内待機車両対策、⑤新事業の団地内企業保育所新設です。
具体的な取組として、特別委員会にて、「重要度」と「緊急性」に絞って検討した結果、現団地会館が竣工後既に52年を経過し、経年劣化が著しく、外壁落下等の危険性があるため、早急に「新団地会館の建設に取り組みむ必要あり」との結論に

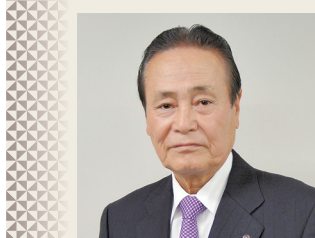
2020年の今年は、世界は昨年の流れを汲んで、様々な地政学リスクに大きく影響されるのではと心配しております。
その一方で、日本は56年振りのオリンピックイヤーとなります。選手たちの活躍に全国が大いに盛り上がり、無事に成功する事を願っています。

達し、理事会にて賛成の決議をいただきました。
今後、しっかりと準備を重ね、6月開催の「定例総会」では①会館建設「事業計画案」、②会館「建設予算案」を上程したいと思っております。
予算につきましては、今までに積み立ててきた剰余金の活用と借入金によることとし、新たな建設負担金等は求めずに対応してまいりたいと考えております。組合員の皆さまにはご理解をいただき、行政並びに係各位の変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。
最後に皆様のご多幸と組合員企業様の益々のご発展を祈念して、年頭のあいさつとさせていただきます。

年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会
会長 森洋

会員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。
お健やかに令和2年の新春を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。
さて、昨年は、日本が議長国を務めたG20や、天皇陛下の御即位、平成から令和への改元、ラグビーワールドカップの開催など記憶に残る年でありました。しかし後半には台風による大雨の影響で関東、東北を中心に甚大な被害がもたらされ、現在も復旧に向けた様々な取り組みが行われております。あらためて被災された方々に対してお見舞い申し上げます。
経済に目を転じると、米中貿易摩擦に関しては、全面的な合意のハ



ドルは高く、製造業を中心に不確実な状態が続いております。景気についても下降局面がうかがえるなど力強さを欠く年でありました。中小企業・小規模事業者においては特に人材不足や働き方改革によるしわ寄せ、最低賃金の上昇によるコスト増など、厳しい状況が続いております。
こうしたなか、本会では人材の確保・定着や生産性の向上を最優先に取り組み、女性・高齢者・外国人など、多様な人材の活用とともに、業務運営の見直しも含めた働き方改革の推進や、IoTなど革新的技術の活用を通じて生産性の向上について情報提供に努めてまいりました。
また、経営者の高齢化や後継者不足により、中小企業・小規模事業者の廃業数が増加が続いている中、改正された事業承継税制を活用するなど、円滑な事業承継を支援してきました。

令和の時代の新しい組合と中央会のあり方を見つめ、また現場の声を大切にしなが、頼られる中央会となるよう業務執行体制の充実を図りつつ、会員皆様に対する支援の充実・強化に取り組む、中央会の社会的プレゼンスの向上に努めていく所存です。
今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。外国人旅行者による関連需要が見込まれ、中小企業・小規模事業者のビジネスチャンスが更に拡大されることでしょう。
皆様におかれましては、協同の精神の下に「連携」をキーワードに、経済の好循環を神奈川県より実現させるため、県や国の中小企業施策を活用しながら、経営革新及び経営基盤の強化に向けた活動に取り組まれ、この激動する時代を乗り切っていただきますよう衷心より念願するものであります。
昨年に変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

盛況に新年を祝福

令和2年1月23日 新年賀詞交換会

令和2年の始まりを祝う新年賀詞交換会を1月23日、当組合会館の3階大ホールで開催いたしました。ご来賓の皆様をはじめ、約100人の皆様にご参加いただき、盛大に新年を祝う歓談の場となりました。

この日は、日頃から当組合活動の事業運営に多大なご支援をいただいている行政の首長をはじめ、関係機関の皆様がご来場されました。

ご来賓を代表して、厚木市長の小林常良様、愛川町長の小野澤豊様、県議の堀江則之様からご祝辞とご支援の言葉をいただきました。そして、厚木商工会議所会頭の中村幹夫様のご発声による乾杯で懇談に入り、ご多忙のなかご参加いただきました皆様と有意義な親交を深めるひと時となりました。



小林常良厚木市長



小野澤豊愛川町長



堀江則之県議



中村幹夫厚木商工会議所
会頭による乾杯



柴崎安弘理事長



歳原博幸副理事長
による中締め

業種を越えて親交を深める楽しいひと時に

事務局より



明けましておめでとうございます。
新年にふさわしい嬉しいニュースがありましたのでお知らせします。当組合員の大久保歯車工業㈱様が「令和元年度神奈川県優良工場表彰」を受賞されました。海外企業からの受注も多く、材料から完成まで一貫生産された歯車の組み合わせが評価されたそうです。内陸工業団地の知名度アップにもご貢献いただきました。さらなるご発展を祈念いたします。海外では、新型コロナウイルスによる肺炎が発生し、日本国内でも感染拡大防止策が講じられているところ。国際的な事業展開をされている組合員企業も多く、対応に苦慮されているという情報もいただいております。一刻も早い収束を願っています。手洗いとうがい、そしてマスク着用が最大の対策とも言われています。皆さまも体調管理には充分にご注意ください。今年も事務局一同、組合の発展と組合員企業の皆さまのご繁栄のため、努力を続けます。どうぞよろしくお願いいたします。



厚木労働基準監督署
赤前幸隆氏



県央地域産業保健センター
谷田久美子氏

安心・安全な労働環境のために

令和元年12月4日 安全衛生講演会

全国的に関心が高まっている「労働環境改善」や「働き方改革」につなげていただくべく、当組合では令和元年12月4日、当組合会館の3階大ホールで安全衛生講演会を開催いたしました。

この日は、組合員企業34社から60人が参加。講師には、厚木労働基準監督署安全衛生課長の赤前幸隆氏、県央地域産業保健センター登録保健師の谷田久美子氏を招き、お話を聞きました。

赤前氏は「本年度、厚木労働基準監督署管内で4件の死亡事故が発生しており、リスクアセスメントの不足が挙げられる」「働き方改革実現のためには、社内の関係スタッフによる連携が必要。労働時間短縮には、業務内容の改善も不可欠」と話します。

また、谷田氏からは「健康診断の結果で、数値が3年連続して悪ければ体のどこかに不調があるサイン」「健康管理でも、特に生活習慣病には、食生活や食習慣の改善が重要」などのアドバイスをいただきました。

当組合では、これからも各種講演や研修会などを通じ、会員企業の皆様の労働環境改善につながる取組を支援してまいります。